

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第1回文化芸術推進審議会
開 催 日 時	令和5年8月8日(火) 午前 9時00分から 午前10時30分まで
開 催 場 所	吉川市役所 3階305会議室
出席委員(者)氏名	高田明充委員、廣瀬正子委員、小松弥生委員、金澤美智子委員
欠席委員(者)氏名	渡辺弘委員
担当課職員職氏名	教育部 岡崎久詩部長 生涯学習課 岩上勉課長、山崎弘輝主査、尾花香穂主事
会議次第と会議の公開又は非公開の別	<p>《会議次第》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 吉川市文化芸術推進基本計画の進行管理方法について 4 その他 5 閉会 <p>《公開又は非公開の別》 公開</p>
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	0名
会議資料の名称	次第 吉川市文化芸術推進基本計画の進行管理方法について(案) 令和4年度 文化芸術関連主な取組について
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	小松弥生委員、金澤美智子委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 高田会長あいさつ 岡崎部長あいさつ</p> <p>3 議事 会議録署名委員の指名について、小松委員、金澤委員を指名。</p> <p>(1) 吉川市文化芸術推進基本計画の進行管理方法について</p>
高田会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明を求める。 ・資料に基づき説明。
高田会長 金澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・説明に意見や質問はあるか。 ・市展に関して、メール等を活用して周知を図った。その際に「写真を撮って良かったか分からなかった」「会場が分かれており1会場しか行かなかった」という声があった。展覧会に慣れている方なら良いが、初めてこういった展覧会に足を運ぶ市民にとって、足を運ぶこと自体に緊張していたようである。「作品を楽しんでください」といったもう少しカジュアルに楽しめる掲示等があると良かったように思う。「土日に市役所が開いているはずがない」と思っていた方もいたようであり、情報の伝達も不足していたように思う。
廣瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市展の会場では知り合いに会うことが多かった。普段から文化芸術活動に関係している、興味がある人は来ていたが、そうでない人は展覧会が開催されていることを知らなかったのではないか。もっとたくさんの人に情報を届けてもらえればと思う。
金澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・普段、こういったことにあまり興味がない人にも声をかけたことで、そのような意見を吸い上げることができた。参考になればと思う。
廣瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> ・施設にボランティアで足を運ぶことがあるが「分かったら行きたい」という人たちがいた。広く周知して欲しい。
高田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・宣伝に関して、公民館フェスティバルを車のスピーカーで宣伝していたこともあった。それも一つの方法だろう。また、今回初めての市展開催ということで、色々と反省点があったので、次回は少しでも良くなる形で実施していきたいと思う。

廣瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> 市展だけではなく演劇にも言えることだが、この期間でこの観覧者数が多いのか少ないのか分からない。少なくとも演劇に関しては観覧者数が少ないように思う。昨年度は観覧できなかったが、過去2回観覧して思うことは、もう少し分かりやすいテーマにして、皆が知っているような題材の芝居にしてはどうだろうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の「ばかされ」に関しては、過去作品と比べると大幅に分かりやすい、吉川市を舞台とした題材にさせていただいた。子どもたちにも分かりやすい舞台にしたため、今年度は子ども達に向けての公演としたところである。
高田会長	<ul style="list-style-type: none"> 過去の観覧者数と比べてどうだったのか。たとえば文化連盟主催の文化芸術祭ではアンケートを実施している。アンケート結果を踏まえて、題材などを検討してはどうだろうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果は参考にさせてもらおう。なお「ばかされ」よりも過去の観覧者数は前回、前々回の公演も延べ約300人の観覧者数であった。上演回数、観覧料金も異なることから全く同じ土俵で比較はできないが。
廣瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> 参加料金が数千円という話を聞いた。私たちがコンサートをする時は全て自分達で賄っている。その他が公費であるなら、なおのこと分かりやすい題材にしていただき、多くの方が観覧したくなるような内容にして欲しい。演劇自体は良いが、間口を広げて分かりやすいものにしていただきたい。
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> 演劇プロジェクトに関して「年齢、性別、国籍、障がいの有無に関わらず」とあるが、この点はどうだったのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に関しては、車いすのキャストが参加した。また、外国人の方も令和3年度公演の際は参加していたが、コロナの影響で令和4年度に延期となり、その際に仕事の都合がつかなく残念ながら令和4年度公演には参加いただけなかった。そのほか、小学生から80代の高齢者の方まで多様な方に参加いただいている。
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> 希望者全員が出られるということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> そのとおりである。
高田会長	<ul style="list-style-type: none"> 目標はあるのか。子ども達にもっと来て欲しいとか、どれくらいの人数に来て欲しいなど。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 目標はチケットのソールドアウトである。
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> ソールドアウトの人数はいか程か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度公演はコロナ禍ということもあり1公演当たり200席であった。今回は小中学生がターゲットのためチケットをどれだけ売らなければいけないということはないが、多くの子どもたちに観ていただきたいと思

<p>廣瀬委員 事務局</p>	<p>う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望者は無料で見られるのか。 ・子ども達はもちろん、その保護者については人数制限なく無料で見られる。小中学生がターゲットだが、家族みなで観覧に来ていただければと思う。
<p>廣瀬委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大人だけでは見られないということか。 ・今年度はターゲットが小中学生のため、そのように実施している。本番公演を広く無料公開すると、来年度以降の実施に影響があるためご理解いただきたい。なお、大人で見たいという方についてはクラウドファンディングを実施しており、そこからゲネプロをご覧いただきたい。
<p>高田会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇公演を今後も続けていくためには、ステージに立った方が多くの人に見てもらえて良かったとなる必要があるだろう。 ・お金の話でいえば、市展の出品料千円も他自治体と比べると安価に思うが、そのこと自体も市民の理解が浸透していないように思う。そういった理解も浸透していければと思う。
<p>金澤委員 廣瀬委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての公募展を実施できたということは大きいと思っている。あとは委員の皆さまからいただいている周知の面が一番の課題と考えている。 ・続けることに意味がある。2回目ではもう少し人が集まるだろう。 ・市民文化祭には出展していなかった人も多くいて、こういった方々もいたのかと思い、文化祭とはまた違った雰囲気楽しかった。
<p>高田会長 廣瀬委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それが市展の一番の成果ではないだろうか。 ・今年の予定はないのか。 ・市展は隔年での開催を予定しており、年内中には文化連盟の皆さまと調整させていただき、令和6年度開催を告知できればと思っている。
<p>金澤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私は子ども達に教えており、多くの子ども達が市展に足を運んでくれた。その中で「私も出したい」という子ども達がいたため、15歳からと伝えたところ「それまで練習しよう」と、将来出展したいという子ども達もいた。そこで思ったことが、市展の宣伝はどこに行ったのか。おそらく子ども達は出展できないからと小中学校には宣伝していないのではないか。小中学生には伝わりきらないかもしれないが、そういった展覧会があるということは言っても良かったように思う。子ども達は良い物は見分けることができる。障がいのある方も出展できると思うので、大人に限らず、多方面に周知してみてはいかがだろうか。
<p>廣瀬委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あのポスターで構わないので、たとえば職員室に貼るといったことをしてみてもどうか。
<p>金澤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも心には残るだろう。今すぐに成果は出なくとも、5年、10

事務局	<p>年後に成果がでるかもしれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校関係では美南高校にしか宣伝していなかった。次回の参考にさせていただきたい。
高田会長	<ul style="list-style-type: none"> 今回は美南高校の生徒に出展いただいたが、児童生徒の部をどうするか今後検討していきたいと思う。
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> 絵画、書、写真、工芸の4部門は従来型の区分だが、アートの世界で現在活躍している人は、この枠に収まらない。デジタルアートなどこの枠にはまらないものが今の主流である。先日、世田谷美術館の方から、市展のように区民から作品を集める展覧会を行った際には、この区分をやめたと聞いた。この枠に収めることがアートの世界で良いのだろうかということも今後検討が必要だろう。
高田会長	<ul style="list-style-type: none"> 確かに表現の仕方は難しい。今回の市展でもゲーム盤のようにこの枠に収まらないような作品もあった。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 今回は工芸部門での申込であった。
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> ゲームは国レベルではメディア芸術と定義されている。去年まで開催されていた国際的なメディア芸術祭の一部門でもあった。若い方はこういったところに目を向けていて、従来型の部門の勢いが少し落ちてきているように思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 小松委員にいただいたご意見は大変参考になるもので、市展の開催にあたり他市町の話をもつてきたが、市展の出品者数と来場者数は減少傾向にある。そこで吉川市は隔年開催とすることで、ある程度出品者数、来場者数が減っていると言われる中でも、新しい部門を設けるなど市展にテコ入れできる、継続していけるのではないかと判断したところである。デジタルアート、世田谷美術館の件など調べていきたい。
金澤委員	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達がパソコンで作った絵などが出展できないのは、まさに部門がないからだろう。
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> そういう作品も対象とする、あるいはデジタルアート部門を作ると、初めての試みになるだろう。色々な分野を排除しないことが必要である。 参加感がないと観には来ないだろう。出展していれば「観に来て」となり、宣伝役や会場運営の手伝いに加わってもらい、あるいは企画段階から市民含めて作り上げていくと人は増えるかもしれない。形態は違うが、トリエンナーレ、ビエンナーレも地元の人たちが創り上げており、参加感が大事に思う。 周知に当たってはチラシやテレビ等だけではなく、SNSを組み合わせることが今は必要である。
金澤委員	<ul style="list-style-type: none"> 大地の芸術祭にボランティアで参加したが、思わず宣伝したくなった。

小松委員	その土地の美味しい物も多く、それも含めて来て欲しいと言いたくなる。
金澤委員	<ul style="list-style-type: none"> • そのように何かと組み合わせることは大事である。演劇や市展を、例えば食文化など何かと組み合わせることも一つの方法かと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • その場に行くとその作品を説明してくれる人がいたり、アーティスト本人が話してくれる等あると面白くなる。市役所ではなく、素敵なホールでギャラリートークのような形もできたら面白いだろう。
高田会長	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年2会場に分かれてしまった要因は、会場であるおあしすがワクチンの集団接種会場となったことからやむを得ず2会場としたものであるため、今回は会場の問題は解決される見込みである。
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> • 資料をざっと見た際に、生涯学習課だけではなく、色々な課にまたいだ活動になっている。小松委員のご意見のとおり組み合わせ、例えば市民参加推進課と自治会を交えて企画できないか。商工課からは10月のなまずサミットに関わる部分で、文化連盟に協力できないか相談があったところ。色々な形で文化芸術を推進するための施策ができればと思っている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 改めて今日の主題は、細かい事業内容ではなく、進行管理を行うに当たり事務局から説明のあった資料で良いかという確認で良かったか。
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> • そのようにお願いしたい。
高田会長	<ul style="list-style-type: none"> • ここまで議論してきた2事業それぞれについてストーリーがあると思うが、何を行い、参加者何人だったではなく、事業をどのように行い、どう工夫したか、次にどう繋げていくかがこの資料では分からない。新規事業なのか、何年続いている事業かも分からない。この事業のためにどのような仕組みを作ったか、演劇についても、キャスト、観覧者、他にも関わっている人がいると思う。観覧に来た人が少なかったとしても、そこに関わっている人がいるはずで、そういう情報もあれば良いだろう。他に、No.9郷土資料館を例にとると、小学3年生が行くことが教育課程に位置付けられているのかと思うが、学校の教育課程の位置づけを格上げしたものにしたとか、小学校はこの2校だけではないと思うので、学校単位でアナウンスはしたなどの努力が見える感じが良いと思う。
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> • それぞれの事業だけではなく、全体での方向性が定まればと思う。お祭り一つとっても、文化になると思うので市民参加推進課と連携でき、カスリン台風の時にはどれだけ水が来たかという結果だけではなく、消防など関わった人たちがどれだけいたか、これからこういったことも考えていかなければいけないなども文化の一つだろう。
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> • それはすごく大事で、指定文化財の調査のように、市内に現存する歴史資料を調査するということに関わってくる。資料にある「吉川小学校の

事務局	<p>校歌について調査を進めた」だけではなく、全市民に「こんな資料ありませんか」といった問いかけをして、それを集めてまとめる、未指定文化財はそのように調査しないと出てこないだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉川小学校は、寺子屋からはじまり創立150周年を迎えた。昨年度は災害伝承碑の文化財展を行い、今年度は校歌を焦点に文化財展を実施したいと考えている。学校資料は文化財保護担当が目録を作っているが、学校は文書を整理して不要なものは廃棄するということが基本とのことで、残っていないものもあり、文化財保護担当が学校に出向いて目録を作り、引き継いで欲しいという旨で目録を渡している状況である。学校にはなくとも、小松委員のご意見のとおり、市民の方が何周年の記念誌を持っているといったこともあるようで、引き続き貴重な資料を収集して企画していきたいと、今の意見を聞いて改めて思ったところである。
高田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・文化条例にある地元企業との連携という点では、市内の料亭から著名な作家の絵画を借りて、なまずサミットに展示することができればという思いもある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・なまずというと食べる方に目が向きがちだが、なまずサミットを契機にそういった商工部門との連携が図れればと思う。 ・資料の作りに戻るが、いただいたお話を踏まえて、必ずしも事業全て掲載する必要はなく、力を入れて取り組んだ、あるいは継続性のある事業を示させていただき、ご意見を頂戴するという方向性にしたいと思うがいかがか。
高田会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を絞り込んで、その内容を深掘りできれば面白いと思う。 ・今回の資料のように事業を全て網羅すると広く浅くなってしまうので、そのように変更させていただく。間に合うようであれば2月の会議の際には変更案をお示ししたいと思う。
高田会長 廣瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、委員の皆さまから何かあるか。 ・8月に行われた「平和のつどい」において合唱連盟として歌うことになった際に、改めて何のために「平和のつどい」を行うのか深くは理解していなかった。担当部署である市民参加推進課に現状を尋ねたところ、経済的な理由等から歌うことが大変という意見も過去にあったという話を聞いた。そのため、「『平和のつどい』の意味を理解したうえで、心を込めて歌いたい」と伝えたところ、職員から多くの資料を貸していただき、戦時中の知らなかったことを知ることができた。そういった背景を知ったうえで歌うと想いも変わり、歌って良かったとなった。また戦時中、吉川に疎開した子ども達は食べる物には困らなかったなど、初めて聞いた話も多く、担当課職員も勉強になったようである。子ども達に市

<p>事務局</p> <p>廣瀬委員</p> <p>高田会長 金澤委員</p> <p>事務局</p> <p>高田会長</p>	<p>の歴史を伝えていくことは大切で、2小学校に見学会を開催していたが、今後も続けて欲しいと思う。この事業はこれで終わってしまうものなのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その2校という理由は、郷土資料館に徒歩で行ける学校ということが実際の理由である。学校からも依頼があり、こちらからも案内して続けている事業である。それ以外の学校に関しては工夫が必要と考えおり、今後検討していきたいと思う。 ・今の吉川市も田畑が広がり水もあり良い場所だと思うが、昔からそうだったということが改めて分かった。 ・子ども達に吉川市を知ってもらう取組を行うことは大人の責務だろう。 ・すごく良い話で、教育は大事であり、自分から情報を取りに行くことも大事だと感じた。 ・なまずのぼりの事業について掲載があるが、これが学校の宿題ということはどうなのだろうか。授業時間が足りないからという理由で、なまずの説明も少ないようで、寂しく思う。 ・学校によって出品数に格差がある事業もあり、授業として取り組んでいる学校、そうでない学校で違いがみられる。間に合わせ感が出てしまっている事業に関しては、もっと子どもたちが楽しめる物がないかと思う。 ・子ども達になまずを知ってもらう学習機会は設けてはいるが、なまずのぼりの件については担当課に情報共有させていただきたいと思う。 ・色々な意見が出て良かった。事務局は今日の意見を参考に、進行管理をお願いしたい。 <p>4 その他 今回は2月に会議を開催予定。</p> <p>5 閉会 高田会長あいさつ</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和5年9月5日</p> <p>署名委員 小松 弥生（自署） 署名委員 金澤 美智子（自署）</p>	